

平成29年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2		
年組	1年 2・3・4組		教科書(発行所)	新・見てわかる社会と情報(日本文教出版)			
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点				項目
			関	思	技	知	
4	オリエンテーション 情報機器を使いこなそう	情報の授業を始める前に 情報社会に生きる私たち 情報機器について知ろう コンピュータを使う前に 文字を入力してみよう データを保存する 文書処理ソフトの使い方 文書作成の工夫 自分の情報を守る 著作権や肖像権の保護 迷惑メール、ネットショッピング デジタルデータの特徴 デジタル化のしくみ	○	○			学習の目標 情報機器を活用して適切な情報収集や発信ができる実践力を身に付ける。 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響について科学的に理解する。 情報モラルを身につけて適切に情報社会に参画する態度を養う。
5			○		○	○	
6			○	○	○	○	
7			○	○	○	○	
8			○	○	○	○	
9			○	○	○	○	
10			○	○	○	○	
7	情報を整理して伝えよう	問題解決の方法と手順 情報の収集と整理 表計算ソフトの使い方 表計算ソフトでデータを整理する 問題解決のために 分かりやすく伝えるには プレゼンテーションソフトの使い方 表現と伝達の工夫 スライド作成の工夫 発表と評価 公開される情報 ネットワークのしくみ ネットワークのコミュニケーション プレゼン実習①情報の収集	○	○			学習の方法 学校においては実習課題に取り組むことが中心となる。授業時間内で終わらなかった場合は、放課後等の時間も活用して最後まで仕上げるのが大切。 家庭学習では『情報のノート』による学習が中心となる。定期考査の問題は主に『情報のノート』からの出題となる。 Classiを利用したアンケートも実施する。小テストを兼ねているので必ず回答すること
8			○	○	○		
9			○		○	○	
10			○	○	○	○	
11			○	○	○	○	
12			○	○	○	○	
1			○	○	○	○	
12	情報社会の課題について考えよう	プレゼン実習②情報の整理 プレゼン実習③発表の準備 発表と評価 情報化が社会に及ぼす影響 サイバー犯罪 情報化の課題 個人認証とアクセス制御 暗号化 情報セキュリティを高める 知的財産権 個人情報の保護 情報とメディアの特徴 社会における情報システム 社会と情報を学んで	○		○		評価の観点 関心・意欲・態度 身のまわりの問題を解決するために情報機器を活用し、情報社会に積極的に参画しようとしているか。 思考・判断・表現 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響について思考を深め、適切に判断し表現できているか。 技能 適切に情報を収集したり発信したりして、効果的なコミュニケーションが行なえているか。 知識・理解 情報機器とネットワークに関する基本的な知識を身に付け、情報社会の特徴について理解できているか。
1			○	○	○	○	
2			○	○	○	○	
3			○	○	○	○	
【備考】						評価の方法 実習点として、提出された実習課題や『情報のノート』、授業態度等をみて100点満点で点数を付ける。 期末考査の点数と実習点の平均で各学期の成績とする。(中間考査は実施しない)	
※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。							